

金沢大学医薬保健学域保健学類 放射線技術科学の入試科目の追加と配点変更について

放射線技術科学専攻主任 市川勝弘
ichikawa@mhs.mp.kanazawa-u.ac.jp

放射線技術科学専攻（以下、当専攻）は学類案内に示されるアドミッションポリシーにもとづき、科学的思考能力に優れ、グローバル社会で活躍できる人材をこれまで以上に求めるため、平成30年度よりセンター入試の配点を理科重視に変更し、前期試験の個別学力検査で数学を追加いたします。

この変更は、ここ20年ほどの劇的な放射線診療の進歩への対応や新しい研究領域の広がりなど、差し迫った情勢によるものですが、入試予告だけでは説明が不十分と考えますので、本資料でご案内申し上げます。

●平成30年度入試の変更点

①一般入試（前期日程）で課す個別学力試験の理科は「物理基礎・物理」と「化学基礎・化学」から1科目選択に変更となります（「生物基礎・生物」は選択できなくなります）。

②一般入試（前期日程）で課す個別学力試験の科目として、新たに「数学」（出題範囲は数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B）を追加します。

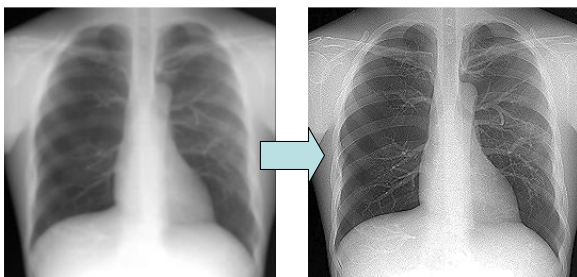
③一般入試および推薦入試で課す大学入試センター試験および個別学力試験の配点を以下のとおり変更します（赤字は変更箇所）。

	試験区分	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	面接	合計点
前期	センター	100 200	100 (100×1)		400 (200×2) 200 (100×1)	200	200	—	1000 900
	個別	—	—	—	200	200	200	—	600 400
	計	100 200	100		600 400	400 200	400	—	1600 1300
後期	センター	100 200	100 (100×1)		400 (200×2) 200 (100×1)	200	200	—	1000 900
	個別	—	—	—	—	—	—	400	400
	計	100 200	100		400 200	200	200	400	1400 1300
推薦Ⅱ	センター	100 200	100 (100×1)		400 (200×2) 200 (100×1)	200	200	—	1000 900
	推薦Ⅱ	—	—	—	—	—	—	400	400
	計	100 200	100		400 200	200	200	400	1400 1300

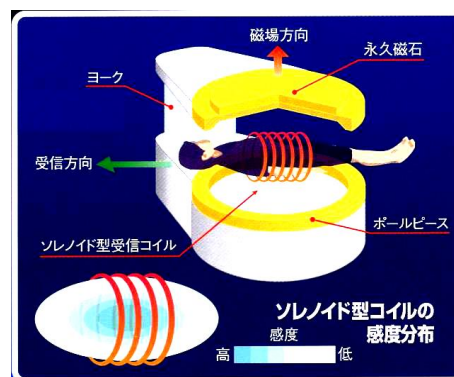
●放射線技術科学専攻の授業

当専攻の専門科目は、医用電子工学、医用物理学などの基礎科目から、放射線物理学、放射線画像形成学、放射線機器学などの医学物理科目、診療撮影技術学、核医学検査技術学、MRI 情報学などの医療技術系および医学系科目にあふれ、それらは、科学的思考能力を養うために非常に重要な科目です。それらの科目の多くは理系の学問であり、それらに興味のある方々にとっても魅力的であることは間違いありません。

専門科目の講義内容の例



放射線画像の鮮明化処理



磁気共鳴 (MRI) 装置の原理

●国内最高レベルの教育・研究設備

本専攻の教育・研究設備は日本で最高レベルであり、現状の診療施設と同等の機器を導入し実践教育と実効力のある研究ができる環境が整っています。

機器例： 高精細デジタル X 線撮影装置、磁気共鳴診断 (MRI) 装置、マルチスライス CT 装置、超音波検査装置、眼底カメラ、核医学装置 (PET/SPECT-CT)

●本専攻の卒業生の進路

当専攻を卒業して国家試験に合格することで、診療放射線技師の資格が得られ、ほぼ 100%の就職率で確実に医療技術者となることができます。1 割近くの学生は、大学院に進学して、データ解析手法や機器開発技術などを学び、ダイレクトに医学進歩に寄与する成果を身をもって経験することができます。

●急激に進む放射線領域のグローバル化

本専攻から大学院に進んだ学生また社会人大学院生は、毎年多くの国際学会に参加し研究成果を発表します。英語による口述発表も多くの学生がチャレンジし、海外の研究者とディスカッションする場を経験します。また、これらの発表成果は英語研究論文として多数発表され、国内外より注目を集めています。

放射線技術科学専攻教員一同より受験生の皆さんへ

将来、診療放射線技師として医療現場でリーダー的立場にたって活躍したい皆さん、また理学系や工学系志向が強く、放射線技術を通じて先進科学を学び、実践的研究開発能力を身に付けたいと思う皆さん、本専攻と大学院ではそれが可能です。ぜひ本専攻を志望してください。お待ちしております。